

【FdData 中間期末：中学歴史：江戸時代①】

[朱印船貿易と日本町]

[問題](1 学期中間)

文中の()に適語を入れよ。

徳川家康は、最初、大名や大商人に海外渡航を許可する朱印状をあたえて、貿易をすすめた。これを(①)貿易という。西国の大名や京都、堺、長崎などの商人は、(①)を派遣して貿易を行った。その結果、東南アジア各地に日本人が進出し、(②)町がつくられた。

しかし、(③)教徒が増えて大きな勢力になることを恐れ、(③)教を禁止し、宣教師を海外追放にした。また、西国の大名が貿易によって経済力を増すのを恐れ、1616年にはヨーロッパ船の来航を長崎と(④)に限定して貿易を独占した。

[解答]① 朱印船 ② 日本 ③ キリスト
④ 平戸

[解説]

徳川家康：朱印状 → 朱印船貿易
東南アジアに 日本町

キリスト教徒の増加

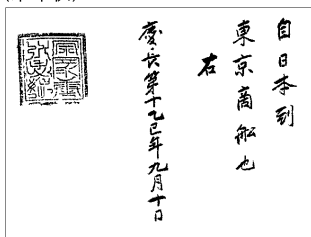


1612年 幕領に禁教令

1616年 ヨーロッパ船の来航を長崎と平戸に限定

1635年 日本人の海外渡航と帰国を禁止

(朱印状)



徳川家康は、最初、大名や大商人に海外渡航を許可する朱印状をあたえて貿易をすすめた。これを朱印船貿易という。西国の大名や京都、堺、長崎などの商人は、朱印船を派遣して貿易を行った。その結果、東南アジア各地に日本人が進出し、日本町がつくられた。タイのアユタヤでこの町のかしらとなった山田長政が有名である。

徳川家康は、最初は海外貿易の利益のために、キ

リスト教については黙認もくになんしていた。しかし、この間に全国にキリスト教の信者しんじやが増加していった。家康は三河みかわの時代に向一揆いっこういっきに苦しめられた経験からキリスト教徒きやうとが増えて大きな勢力になることを恐れ、キリスト教を禁止せんきやうしし、宣教師を海外かいがい追放ついほうにした。また、西国の大名が貿易によって経済力を増すのを恐れ、1616年にはヨーロッパ船の来航らいかうを長崎と平戸ひらどに限定して貿易を独占した。

【問題】(2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 幕府から貿易の許可状をもらった船が、東南アジア各地と行った貿易を何とよぶか。
- (2) (1)の貿易で、幕府が出した海外渡航の許可証を何というか。
- (3) (1)の貿易を始めた将軍は誰か。
- (4) (1)の貿易により、東南アジア各地にできた町を何というか。

【解答】(1) 朱印船貿易 (2) 朱印状 (3) 徳川家康
(4) 日本町

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えなさい。

- (1) 東南アジアの港町に住みついた日本人がつくった町を何といいますか。
- (2) タイのアユタヤでこの町のかしらとなった日本人は誰ですか。

[解答](1) 日本町 (2) 山田長政

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sr3/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

[Fd 教材開発] Mail : info2@fdtype.com